

めでめでっぺ

発行：平成22年2月1日
企画：三春町商工会広報委員会
委員長：大内幸一
副委員長：渡辺宏二・渡辺太
委員：14名



会長あいさつ

三春町商工会
会長：内藤 忠

明けましておめでとうございます。

平成22年を迎え、会員の皆様には、心を新たにこの一年の希望を掲げておることと思います。ビジョンもまとまり、今年これを如何にして商工会を活性化していくか、実行の初年になります。地域地域で皆が知恵を出し、汗をかき頑張っていかなければ埋没してしまう時代になってきたように思います。佐藤雄平福島県知事いわく、「文化・教育・医療・交通」が人の住み着く条件だそうです。町立三春病院が福島県の「地域家庭医支援センター」の中核の一つに指定されるようです。平成22年には「まほら」ではニューイヤーコンサートの入場者が90%を超えていました。又、玄侑宗久原作三春町と国見町で撮影された「アブラカサスの祭」の映画が完成上映されます。このように三春町の力があちこちに現れ出してきました。我が商工会も会員一丸となり「地域皆さんの三春町商工会」を掲げ、この一年活動をして参りましょう。

中町支部

広報委員
大内 幸一 幕田 勝浩 山口 晋司



皆様、新年明けましておめでとうございます。商工会中町支部長の村山です。中町支部はヨークベニマルの移転が本決まりになり、これから益々変貌しようとしております。我々個人事業主として今回の事を支部活性化として、良い方向に向かう様、支部の皆様と頑張っていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。又、街路灯組合の皆様の御尽力により、中町の街路灯が一新されました。素敵な街路灯に負けない様、景観作りも取り入れていきたいと思っております。皆様方にはこれからもご指導、ご鞭撻のほどよろしく御願ひ申し上げまして、新年の挨拶とさせていただきます。



●ベニマル移転地（旧いきがえセンター）

大町支部

広報委員
松本 哲朗

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願いいたします。

大町支部では、商店街活性化を第一目標に、今年も大町商店会の毎月の売り出しと各種イベント〔桜まつり、夏まつり、秋まつり、年末〕事業の後援を行います。また、だるま市や盆踊りなどの開催区域であるため、賑やかさ創出のために色々なバックアップをしていきたいと考えています。さらに、現実となったヨークベニマル移転開店に関する事、二核一軸構想などを考えていかなければと思います。

荒町支部

広報委員
渡辺 宏二 本田 正弘

今年は、2年に1回の恒例となりました青年部荒町支部主催第10回「商業祭」が8月下旬頃に愛姫通りで開催する予定です。すばらしい景品が当たる「大抽選会」「縁日コーナー」「ゲームコーナー」等楽しいイベントを考えています。みなさん遊びに来てください。



要田支部

広報委員
過足 奈美



要田支部長 横山

新春を迎え、皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げますとともに、本年も宜しくお願いいたします。

要田支部は「クリーン作戦」をメインに新年会などの活動をしてきました。役員会では、要田支部の特徴（大企業から個人商店まで大所帯）を活かして何か新しい活動は出来ないか？と毎回討論しています。来年度は何か新しいことにチャレンジできれば良いと考えております。最後になりましたが、本年が皆様方にとりまして、幸多い年となりますことを心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

八幡町支部

広報委員
柳沼 久勝

新年明けましておめでとうございます。支部会員の皆様には日頃より支部運営、支部事業に関し、特段のご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、当支部の活動内容は、支部活性化事業の一環として、夏祭りや秋祭りを年2回ほど屋台を出して地域の方々に「大変美味しい」と喜ばれております。今年も実施されるので皆さん是非お越し下さい。また、当支部内で桜川の河川改修工事が急ピッチで進められ、綺麗な町並みが再生されつつあり、完成した際には足をお運び下さい。最後に、この「デフレスパイラル」を皆さんの力で脱却するために新会員の入会を心よりお待ちしております。



中妻支部

広報委員
橋本 新一

当支部では支部活性化助成金制度活用の取り組みを検討中でありましたが、農商工連携の観点を含めて考えると当地区には、割合に活性化に繋がる財産があることを再認識させられました。例えば、昨年は地区の有志と中山間直接支払い事業との連携にて「田んぼアート」が試みられ、テレビで紹介されたことにより、多数の見物人が訪れたり農産物の直売所、太々神楽、レベルの高い飲食店の数々、水掛祭等々・・・これらの財産に対し支部として何か協力できることはないか只今会員の皆さんと相談しているところです。それぞれの責任者との話し合いが不可欠なことから、出来る事から具体化してゆく方向で、春までに初めの事業をスタートさせる計画です。

中郷支部

広報委員
大内 文

【中郷支部活動報告】

平成21年11月17日（火）に例年活動「ダム周辺のゴミ拾い作業」を実施しました。



沢石支部

広報委員
佐久間 正生

支部長の佐久間正生です。小生も商工会に加入（21.1.13）し、早一年が過ぎました。今まで沢石支部については、加入率26パーセントと低く、事業活動の実績もない状況でありましたので、平成22年度には支部会報を作成し、沢石地区全戸に配布する予定であります。又、支部活性化助成事業を活用し、年間2件程度の事業を行いたいと考えています。内容については、三春町商工会沢石支部の法被をつくり更には沢石まちづくり協会主催の球技大会・大運動会に参加するなど活用することです。2つ目は、朋友会と共催で沢石豊年盆踊り大会打ち上げ花火や実沢地区秋まつり（郷社高木神社氏子青年部との共催）で子ども神輿を奉納することも考えています。会員には事後報告となりますが、昨年の12月9日に商工会事務局長と青山指導員、橋本淑子さん（沢石担当）の3名に井戸上法律事務所を会場として支部懇談会を開催しました。各種共済制度、支部活性化助成事業の取組み事例など商工会の活用について懇談し、懇親を深めました。

御木沢支部

広報委員
渡辺 太 鈴木 隆

新年明けましておめでとうございます。御木沢支部長の鈴木隆です。旧年中は、大変お世話になりました。

新年度の支部活動方針といたしましては、まず、会員同士の親睦をより一層深め、新規会員の獲得に努力し、支部活動を例年以上に盛り上げていきたいと思っております。昨年暮れの役員会において、活動についての活発な意見交換がなされ、新年度の支部活動に大変参考になりました。今まではちょっと違った御木沢支部になっていければと思っています。



北町支部

広報委員
植田 ちか子

北町支部の活動している事業所さんをご紹介します。

南赤井 代表取締役赤井幸夫（教科書・学校教材・事務機器販売）、南駿和 代表取締役遠藤善幸（土木工事一式）、南中屋商店 代表取締役村田信一（燃料・味噌販売）、南柳田花店 代表取締役植田ちか子（生花販売）、山木印章店 山木市朗（印鑑・ゴム印彫刻販売）、佐久間書店 佐久間洋子（畳製造・表替え）、松屋酒店 嶋原ミワ（酒類・飲料水販売）、ビューティーまちだ 町田喜美子（美容業）、志賀理容所 志賀靖和（理容業）、小山美容院 佐藤昭子（美容業）、南三春縫製 代表取締役伊藤桂子、南三春集報社 代表取締役橋本俊介（新聞販売・宣伝物配布）、南自然食品の会 二部恵美（自然食品卸売・小売）、南山惣 代表取締役松村豊（料理飲食、仕出し・オードブル製造販売）、南橋本農機商会 代表取締役橋本盛光（農業機械販売修理）、南湯浅製作所 代表取締役湯浅雄逸（機械器具の設計・組み立て・修理及び加工）

今年の目標は、お互いの心を伝えて、親睦を図る一年にしましょう。行事予定に従って、行動していきますので、ご協力をお願いします。まずは、新年会から！

岩江支部

広報委員
新田 信二



おめでとうございます。岩江支部です。本年も宜しくお願いいたします。今年は、寅年、寅さんで世界的に知名度が高くなった葛飾柴又風に商工会ひとり、一人が寅さんになり明日の三春を考えていきます。注：身なりは普段どおりでお願いします。

- ① 地域の工業・商業部会の活性化を図る為、他商工会との異業種交流会等を計画しています。
- ② 第一線で働く経営者から、二代目経営者等の交流で、お互いのモチベーションを高めると共に、心のリフレッシュも計画しています。
- ③ 地域行事への参加。
- ④ 新会員の入会を心からお待ちしています。（業種は問いません）

【岩江支部だより 新会員の紹介】
有限会社 三春塗装 代表：水野芳夫
事業内容 塗装全般
特徴 世の中高齢化社会が続く中、当事業所に於いては、若いベテランが中心に活躍しています。建物から一般住宅まで、あらゆる分野に対応致します。今後、よろしく御願ひ致します。



新町支部

広報委員
白岩 孝吉 白石 吉正

新町支部地内には、慶安3（1650）年2代藩主盛李公によって、茨城県友部町から古四王とともに遷された真照寺があります。春には、本堂奥左の水芭蕉の群生地があり、水芭蕉の咲くお寺として知られています。このお寺で、2月3日（水）に節分会が開催され「災難・厄難を避け」、「本年も良い年でありますよう」、本尊不動明王にお護摩祈禱が行なわれ、午後7時30分より豆まきが行なわれます。この豆まきでは、「温泉1泊2名様の特待」の特賞や新町支部でも協賛の景品を提供させていただきます、豪華な景品が振る舞われます。みなさまお誘い併せのうえ、真照寺さんで福を授かりましょう。又、2月22日（月）午後1時より初寅会が開催され、毘沙門さまの福德（家内安全・商売繁盛）さづけていただきます。人と接しなくてもインターネットによって世界の人々と情報交換・親近感を持つことも大切でした。物の販売・購入、決済が行なわれ大変便利な世の中になりました。しかし、相手と接して、空気を感じて、協働の生活をする事がなくなりました。近くにいれば粗もみえいやな事もあることでしょう。古くからコミュニケーションの場としての節分・初寅など多彩なイベントが行なわれてきました。人々が言葉業を交わし、共に怒る、悲しみ、笑うなど共感する事が地域づくりの第一歩と考えます。ぜひ、真照寺の節分豆まきに足を運んで一歩踏み出しましょう。

《三春町産業功労章受章者の受章に寄せて》

「受賞に寄せて」



三瓶理髮館
三瓶幸助氏

私こと、此の度誉れある功労賞を戴き誠に光栄と存じます。此れも一編に商工会及び諸先輩並びにお客様のお引き立てを頂きました事に心中より感謝の意を表します。
受賞の感想としては、この道に入って以来、幾多の迷いもありましたが、長年に渡り専業として培われた思いがあります。其の一端を申し述べたいと思います。
懐かしき修行時代に思いを馳せ振り返りますれば日々「喜怒哀楽」の繰り返しを体験しての今現在があるものと信じます。其の思いが勇気となって湧いてきました。少しでも社会のために報いるよう心掛けて、此の賞に恥じないよう励んで行きたいと思ひます。
最後に新年にあたり、三春町の発展と我々商工会の繁栄を願ひ、微力ながらお役に立てればと思ひております。

「受賞に寄せて」



鈴木整骨院
鈴木俊裕氏

この度、鈴木接骨院開業に関し、三春町から功労表彰を頂き誠にありがとうございました。
昭和二十八年、田村高等学校に入学と同時に柔道と出会い、卒業後、上京講道館での柔道の修行、そして柔道整復師国家資格を取得し、昭和三十六年に鈴木接骨院を開業いたしました。その後、三春柔道会、山の会、スキークラブ、バイク愛好会等、地域の皆様との出会いあり、人生山あり谷ありで、柔道整復師として五十年間、誠に充実した人生を歩んでおります。
今後も生涯現役、地域医療の一端として、柔道を通して私（講道館柔道七段）、妻トシ子（三段）、長男英明（五段）の三人で今回の名誉に報いるためにも、地域社会づくりに協力させていただきます。
なお一層のご指導、ご鞭撻の程お願い申し上げます。

三春町功労賞をいただいで



(有)橋本設備
橋本武芳氏

この度は三春町功労賞という名誉ある賞をいただき、誠にありがとうございました。受賞の知らせを頂いた時は戸惑いましたが、長年の仕事を認めていただけたのだと感慨深い気持ちでいっぱいでございます。
思い起せば、農閑期の出稼ぎから始まりました。家族から離れて寂しい思いをした事が思い出されます。いろんな現場を経験しながら現在の水道業に辿り着きました。妻の協力の元少しずつコツコツと、今では息子達がしっかり支えてくれています。三春町や近隣地域のみならずにも大変お世話になり有り難うございます。この場をお借りして御礼申し上げます。
最後にこれまで私に就いてきてくれた妻に感謝しまして、これからも健康第一に頑張っていきたいと思ひます。

三春町功労賞



(有)橋本石材
橋本一雄氏

この度、功労賞という栄誉ある賞をいただき誠にありがとうございました。此れもひとえに出会いを与えて下さいました一人一人のお客様、並びに諸先輩のご支援ご協力の賜と思ひ心から御礼申し上げます。
中学校を卒業後、祖父の代から続く石材加工の仕事を始め、昭和から平成へと半世紀に渡り石材業一筋に携わってまいりましたが、この業界に入った当初は、苦難と精進の日々で楽しい事は少なかったが、家族の支えや物創りの原点でもある仕事を成し遂げた達成感・満足感が、やがて仕事に対する自信となり今日まで続けられた要因の一つと思われる。
今回の表彰を重く受け止め、お客様を第一に考え今後さらに勉強に励みながら、後継の育成や指導に尽くし地域社会に貢献したいと思ひます。

《三春町商工会青年部の苦悩について》



青年部長
内藤 耕力

三春町商工会青年部の部長を務めます内藤耕力です。
今回、青年部からの提言を商工会の広報誌に掲載していただけるのありがたい申し入れがありましたので寄稿させていただきます。
現在の商工会青年部員数は40名です。しかし、私が10年程前に青年部に入部した時は70名を超えていたと記憶しております。10年で30人しか減っていないのかと思われる方もいらっしゃると思いますが（別表をつけさせていただきます）青年部は2年1期で運営しており今期と来期の4年間で20名の卒業を向かえ、このまま入部する者がいなければ半減いたします。
このような人員の激減の中にあっても青年部の事業は10年前と変わらず行っておりまして、本来であれば、町と商工会・商工会全体で取り組むような事業もあります。これは青年部員数が100名程いたときであれば問題なく取り組めましたが、今後は青年部単独で取り組む事は無理です。
具体例を挙げると「一関市産業まつり」への参加です。今まで青年部単独で運営してましたが、10年程前から青年部だけでは人員が

確保できず町職員の協力を得て、一般町民の参加等も呼びかけてまいりましたが、結果毎年参加するのは町職員と青年部員のみです。
左記のように、もう既に青年部単独で事業を維持する事は難しくなっておりますので、青年部事業の中で商工会にお返しできるものはお返しし、商工会全体で取り組んでいって頂きたいと考えております。勿論青年部は商工会の中の組織ですので事業への参加はいたします。要は青年部単独で事業を行えなくなったので、これまでの事業を商工会全体でどう運営していくのか考えていって頂きたいということです。

《部員数推移表》

年 度	卒業部員数	青年部員数
平成21年度	6	34
平成22年度	6	28
平成23年度	4	24
平成24年度	4	20
平成25年度	2	18
平成26年度	3	15
平成27年度	2	13
平成28年度	2	11
平成29年度	3	8
平成30年度	1	7
平成31年度	4	3
平成32年度	2	1
平成33年度	0	1
平成34年度	1	0

三春町商工会よりお知らせ

会員勧誘奨励金制度の創設について

三春町商工会会員勧誘に関する奨励金交付要綱

- 【第1条 趣旨】
三春町商工会（以下、「本会」という。）の組織向上を図り、更なる事業の活性化を目的とし、会員の募集獲得を行った三春町商工会各支部（以下、「各支部」という。）に対し、この要綱の定めるところにより、奨励金を支給する。
- 【第2条 支給対象支部】
支部単位の活動として行った場合にのみ支給する。また、他支部区域の事業所を獲得した場合にも有効とする。なお、以下の該当支部ごとに支給する。
(1) 新規会員を獲得した支部
(2) 獲得会員が所属する支部
※注）新規会員が所属する支部は、原則として営業所等が存在する支部とする。
- 【第3条 支給対象期間】
支給対象となる期間は、本会の年度単位とする。
- 【第4条 奨励金の支給額】
第2条第1項1号、2号に対し、支部が獲得した会員1事業所につき、年会費相当額を上限とする2分の1の額を各々に支給する。ただし、以下要件をすべて満たしている事業所に限る。
(1) 本会の地区内において、引き続き6ヶ月以上営業所等を有する事業所
(2) 本会入会申込書により手続きを完了した事業所
- 【第5条 交付方法など】
交付方法は、会員獲得奨励金申請書（様式1）に獲得会員一覧表（様式3）を添付して申請し、交付決定通知を受けた後に支給する。

個人事業主の皆様へ ～確定申告はお早めに！！～

所得税・贈与税の申告期限及び納付期限は、

3月15日(月)まで

消費税及び地方消費税の申告期限及び納付期限は、

3月31日(水)まで

となっております。早めの準備を心がけましょう！

(平成21年分) 納期限のお知らせ

	現金納付の方 納 期 限	振替納税の方 振 替 日
申告所得税	3月15日(月)	4月22日(木)
	5月31日(月)	5月31日(月)
消費税及び 地方消費税	3月31日(水)	4月27日(火)

(ご注意下さい)
※納期限を過ぎますと延滞税が加算されます。
※口座振替にならなかった場合は、納期限の翌日から延滞税が加算されます。
※延滞税の割合は、納期限の翌日から2月を経過する日までは、年「4.3%」、それ以降は、年「14.6%」です。
※期限後申告となった場合は、振替納税制度・延納制度はご利用できなくなります。
※延納額が12万円以上の場合は、利子税（年4.3%）を併せて納付（振替）することになります。